

言語処理

Language Processing

2 単位 (選択)

任 福継・教授 / 知能情報工学科 基礎情報工学講座

【授業目的】自然言語のコンピュータによる処理で必須な文法、そして、言語理解における基礎的な形態素解析と構文解析技術を修得させる。

【授業概要】言語の基本性質とモデルから始め、自然言語処理のための形態素解析や構文解析の基礎を、実例を与えながら技術的な観点から講義する。

【キーワード】自然言語処理、形態素解析、構文解析

【先行科目】『オートマトン・言語理論』(1.0)

【到達目標】

1. 自然言語のコンピュータによる処理で必須な文法、そして、言語理解における基礎的な形態素解析と構文解析技術を修得させる。
2. 言語の基本性質とモデルから始め、自然言語処理のための形態素解析や構文解析の基礎を勉強し、知能情報工学を考える能力を育成する。

【授業計画】

1. 言語処理概観
2. 基礎数学 I
3. 基礎数学 II
4. 基礎数学 III
5. 形態素解析 I
6. 形態素解析 II
7. 形態素解析 III
8. プロジェクト I
9. 構文解析 I
10. 構文解析 II
11. 構文解析 III
12. 応用システム I
13. 応用システム II
14. 言語処理の最新課題 I
15. 言語処理の最新課題 II
16. 定期試験

【成績評価基準】講義に対する理解力の評価は講義への参加状況、演習の回答、レポートの提出状況と内容及び最終試験の成績を総合して行う。

【教科書】長尾真 編 「自然言語処理」岩波書店

【参考書】岡田直之 著 「自然言語処理入門」共立出版

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215832>

【対象学生】開講コース学生のみ履修可能

【連絡先】

⇒ 任 (C 棟 204 室, 088-656-9684, ren@is.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日午後 4 時—午後 5 時, 木曜日午後 4 時—午後 5 時)

【備考】

- ◇ 1. 成績評価に対する平常点と試験の比率は 5:5 とする。平常点には講義への参加状況、演習の回答及びレポートの提出状況と内容を含む。
- ◇ 2. 授業を受ける際には、2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。